



認知症マフ ワークショップ

手と心を
つなぐぬくもり

認知症マフは、認知症特有の症状から手元に不安を感じる人が触れたり手を通したりして落ち着けるように、さまざまな飾りを縫い付けた円柱型のニット小物です。イギリスなど海外の高齢者施設や医療機関でも使われており、英語ではTwiddle Muff（トゥイドルマフ）と呼ばれています。この製作、普及を学ぶワークショップを開催します。

地域で認知症マフを取り入れた活動を行っているボランティアの取り組みや、共生社会における認知症マフの可能性をゲスト講師からお話しいただき、NHK E テレ出演をはじめ多方面で活躍中のニット作家・能勢マユミさんには参加者のみなさんと一緒に実際にマフを編んでいただきます。

ワークショップを通じて、認知症の当事者のことや認知症にやさしい地域づくりについて考えていただけることを願っています。



プログラム

- 13:30 …… 認知症マフの基礎知識（朝日新聞厚生文化事業団 森田英枝）
活動報告「認知症カフェにマフを置いてみたら…」（コミュニティナース 中島珠子さん）
ミニ講演「地域共生社会実現に向けた取り組み—Twiddle Muffが果たす役割—」
（筑波大学医学医療系准教授 目麻里子さん）
- 14:25 …… 休憩
- 14:35 …… マフづくり実践（ニット作家 能勢マユミさん）
- 16:20 …… 質疑応答
- 16:30 …… 終了



2024
9/8 日

日時

2024年9月8日（日）13時30分～16時30分（開場13時）

場所

朝日新聞東京本社・読者ホール（東京都中央区）
地下鉄大江戸線築地市場駅 A2出口すぐ

定員

50名 先着順

参加費

3,000円 資料材料一式・消費税込み 当日会場でお支払いください

お申し込み

7月22日（月）正午以降、厚生文化事業団HPの
お知らせページから（定員になり次第締め切り）

お問い合わせ

Eメール：aswo-osaka@asahi.com 電話：070-3349-4847（平日10時～18時）



お申し込みは
こちら

特設ブース

認知症の人と家族の会による認知症なんでも相談窓口があります
お気軽にお立ち寄りください



主催：朝日新聞厚生文化事業団

協力：認知症の人と家族の会東京都支部・茨城県支部

後援：朝日新聞社なかまある